

2022年4月5日

報道関係各位

GMO ペイメントゲートウェイ株式会社

**銀行・カード会社など金融機関の BaaS を支援する  
「GMO-PG プロセッシングプラットフォーム」に3つの新サービスを追加  
～ASP サービスの提供を通し、BaaS や金融ビジネス展開の実現を支援～**

GMO インターネットグループにおいて、総合的な決済関連サービス及び金融関連サービスを展開する GMO ペイメントゲートウェイ株式会社（東証プライム：証券コード 3769、代表取締役社長：相浦 一成 以下、GMO-PG）は、銀行・カード会社など金融機関の BaaS（Banking as a Service）<sup>(※1)</sup> を支援する ASP サービス「GMO-PG プロセッシングプラットフォーム」に、新たに「イシューイングゲートウェイサービス」「ネットワークサービス」「FEP <sup>(※2)</sup> サービス」の3つの新サービスを本日 2022年4月5日（火）より提供開始いたします。

<「GMO-PG プロセッシングプラットフォーム」に追加するサービス>

イシューイングゲートウェイサービス	カード番号管理・ブランドネットワーク接続といった各種カードのイシューイングに必要な機能を提供するサービス
ネットワークサービス	金融・カードビジネス展開に必要な各ネットワークとの対外接続を提供するサービス
FEP サービス	カード取引等に必要な対外接続機能とオーソリゼーション機能などを提供するサービス

(※1) 金融ライセンスを持つ機関が金融機能をサービス（API）として提供すること。

(※2) 「Front End Processor」の略。カード会社が外部ネットワークの接続に際し必要となるシステム。



**【背景と概要】**

銀行やカード会社などの金融機関はキャッシュレス社会を創出するため、金融機能をサービスとして提供する BaaS への取り組みを強化しており、GMO-PG ではこの BaaS を支援する「GMO-PG プロセッシングプラットフォーム」を 2017 年より提供しています。

昨今、銀行・カード会社等の金融機関がシステム変更の実施や新規に事業を立ち上げる場合、事業開始までにスピード感が求められながらも、セキュリティ対策への多くの投資・システムの安定性が求められているのが現状です。

このような背景のもと GMO-PG は、銀行・カード会社等の金融機関や金融機能を保有している事業者が、新たな金融サービス展開や金融事業全体にかかるコストを削減できるよう、「GMO-PG プロセッシングプラットフォーム」に3つの新サービスを追加しました。

### ■イシューイングゲートウェイサービス

自社基盤や既存金融機能を活用してより簡便にイシューイングビジネスを展開できるよう、カード番号管理・ブランドネットワーク接続・ベンダー接続といった各種カードのイシューイングに必要な機能を提供するサービスです。本サービスを利用することで、クレジットカード・デビットカード・プリペイドカードの発行を新たに行う際に、自社のシステム保有資産を活用して新たな決済インフラを構築することが可能です。またカード情報は GMO-PG が管理するため、PCI DSS への対応範囲を極小化でき、イシューイングビジネスにおけるセキュリティ対応負荷の大幅な軽減を実現いたします。

### ■ネットワークサービス

金融ビジネス展開に必要なネットワークや関連サービス事業者との接続（イシュア・アクワイアラ・国際ブランド・信用情報機関・銀行・印刷会社・TSP<sup>(※3)</sup> など）を提供するサービスです。GMO-PG が各ネットワークの仕様に合わせて接続するため、例えば、各ネットワークや関連サービス事業者と直接接続を行うことが可能となり、コスト削減や多様なインターフェイスとの接続が容易に実現いたします。また接続先の追加も随時できるため、廉価に複数の接続を実現いたします。

(※3) 「Token Service Provider」の略で、カード番号とトークンを変換するシステムを提供する事業者のこと。

### ■FEP サービス

カード取引等に必要な対外接続システムとオーソリゼーション機能を提供するサービスです。高い処理能力と可用性により、取引量の増加に対しても、基幹システムへの負荷を抑えたシステムの安定稼働を実現いたします。

また、今後「GMO-PG プロセッシングプラットフォーム」では、自社経済圏における後払い決済インフラを構築できるソリューションの追加など幅広く提供サービスの拡張をまいります。

## 【GMO-PG プロセッシングプラットフォーム】について

(URL : <https://www.gmo-pg.com/service/processing/> )

2017 年より GMO-PG は、銀行・カード会社など金融機関の BaaS や新たな金融ビジネス展開を支援する「GMO-PG プロセッシングプラットフォーム」を提供しています。

「GMO-PG プロセッシングプラットフォーム」は、対面・非対面 (EC) 問わず、各種カード (クレジットカード・デビットカード・プリペイドカード・ハウスカード) のイシューイング・アクワイアリングをサポートする5つの決済ソリューションと、ネットワークへの接続や業務管理などの共通基盤からなります。

ソリューション・共通基盤はすべて API で提供するため、事業開始までのスピード感を落とすことなく利用できます。また、GMO-PG のオンライン取引実績に元づくノウハウ、知見を活かし、事業者にかかる事業全体のコストを削減することが可能です。

なお、GMO-PG のシステムは、クレジットカードのグローバルセキュリティ基準「PCI DSS」に完全準拠しております。

## 【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社について】

ネットショップなどのオンライン事業者、NHK、国税庁や東京都等の公的機関など 10 万店舗以上の加盟店に、総合的な決済関連サービス及び金融関連サービスを提供しています。決済サービスを中心に、加盟店の成長に資する付加価値サービス、金融技術を活用した決済手段や資金ニーズに対応するサービスを提供し、年間決済処理金額は 8 兆円を超えています。(2021 年 12 月末現在、連結数値)

決済業界のリーディングカンパニーとして、キャッシュレスや DX を進める事業者や金融機関に対して、各種決済・金融関連のソリューションやプラットフォームの提供、決済インフラの構築などを行っています。また、海外での決済関連サービス展開や海外の先端 FinTech 企業への戦略的投融資などグローバル展開も進めています。今後も新たなイノベーションを牽引し、持続可能な社会の実現と社会の進歩発展に貢献してまいります。

以上

### 【報道関係お問い合わせ先】

- GMO ペイメントゲートウェイ株式会社  
企業価値創造戦略 統括本部 広報・UX 部  
TEL : 03-3464-0182  
お問い合わせフォーム：  
<https://contact.gmo-pg.com/m?f=767>
- GMO インターネット株式会社  
グループコミュニケーション部 広報担当 松井  
TEL : 03-5456-2695 E-mail : [pr@gmo.jp](mailto:pr@gmo.jp)

### 【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO ペイメントゲートウェイ株式会社  
イノベーション・パートナーズ本部  
戦略営業統括部  
デジタルトランスフォーメーション戦略部  
プロセッシング Gr  
TEL : 03-3464-2323  
E-mail : [info@gmo-pg.com](mailto:info@gmo-pg.com)

### 【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社】(URL : <https://www.gmo-pg.com/> )

会社名	GMO ペイメントゲートウェイ株式会社 (東証プライム 証券コード:3769)
所在地	東京都渋谷区道玄坂1丁目2番3号 渋谷フクラス
代表者	代表取締役社長 相浦 一成
事業内容	■総合的な決済関連サービス及び金融関連サービス
資本金	133 億 23 百万円

### 【GMO インターネット株式会社】(URL : <https://www.gmo.jp/> )

会社名	GMO インターネット株式会社 (東証プライム 証券コード:9449)
所在地	東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事業内容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業
資本金	50 億円

Copyright (C) 2022 GMO Payment Gateway, Inc. All Rights Reserved.